

① から④の意味のことわざを、から選び、に書きましよう。

① よいと思ったことは、ためらうことなく実行すべきという意味。

② すらすらと話すことのとたとえ。

③ 遠回しすぎて、思うようにならないことのとたとえ。

④ 役に立つ物を持っているのに、しまいこんで使わないことのとたとえ。

② 線を引いた言葉の対になる言葉を完成ましよう。  
から選び、の中に書き入れて、ことわざを

① 多勢たぜいに ( ) (相手が多数なのに対して少数なので、勝ち目がないこと)

② 負けるが ( ) (しいて争わず、勝ちをゆずるのが、結局は勝利をもたらすということ)

③ 急がば ( ) (急ぐときは、危ない近道を通るよりも、遠くても安全で確実な道をとったほうが、結局は、早く到着すること)

④ 公然こうぜんの ( ) (かくしているはずが、広く世間に知れ渡ってしまっていること)

ひみつ 少勢 勝ち 無勢 注意 回れ

③ ①から④までのことわざと、よく似た意味に使われていることわざをA～Dの中から選び、線で結びましよう。

① 虻蜂あぶばちとらず . . . A 弱り目にたたり目

② 鬼おにに金棒かなぼう . . . B 柔じゅうよく剛こうを制す

③ 泣きつ面に蜂はち . . . C 虎こに翼はね

④ 柳やなぎに雪折れなし . . . D 二兎にうと追おう者は、一兎いちうとも得えず



①から④の意味のことわざを、から選び、に書きましよう。



① よいと思ったことは、ためらうことなく実行すべきという意味。

善は急げ

② すらすらと話すことのとたとえ。

立て板に水

③ 遠回しすぎて、思うようにならないことのとたとえ。

二階から目薬

④ 役に立つ物を持っているのに、しまいこんで使わないことのとたとえ。

宝の持ちぐされ

急がば回れ

二階から目薬

立て板に水

石の上にも三年

善は急げ

宝の持ちぐされ

② 線を引いた言葉の対になる言葉を  から選び、( ) の中に書き入れて、ことわざを

① 多勢に ( 無勢 ) ( 相手が多数なのに対して少数なので、勝ち目がないこと)

② 負けるが ( 勝ち ) ( しいて争わず、勝ちをゆずるのが、結局は勝利をもたらすということ。)

③ 急がば ( 回れ ) ( 急ぐときは、危ない近道を通るよりも、遠くても安全で確実な道をとったほうが、結局は、早く到着すること)

④ 公然の ( ひみつ ) ( かくしているはずが、広く世間に知れ渡ってしまったこと)

ひみつ 少勢 勝ち 無勢 注意 回れ

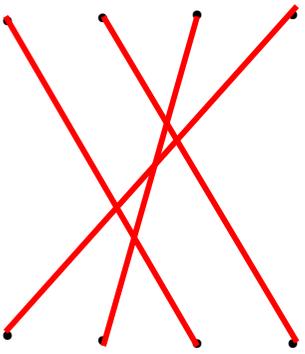
③ ①から⑤までのことわざと、よく似た意味に使われていることわざをA～Dの中から選び、線で結びましよう。

① 虻蜂とらず A 弱り目にたたり目

② 鬼に金棒 B 柔よく剛を制す

③ 泣きつ面に蜂 C 虎に翼

④ 柳に雪折れなし D 二兎追う者は、一兎も得ず



① ことわざの意味を理解しましょう。

- ① **善は急げ**……よいと思つたことは、ためらうことなく実行した方がよいこと。  
 ・よいと思つたことは、すぐに実行すべきだという意味。  
 同じような意味のことわざに、「思い立ったが吉日」がある。

② **立て板に水**……すらすらと話すことのたとえ。

- ・立てた板に水を流すと速く流れることから、すらすらと話すことにたとえた。

③ **二階から目薬**……遠回しすぎて、思うようにならないことのたとえ。

- ・二階から目薬をさすことはむずかしいことから、思うようにならないことをたとえた。

- ④ **宝の持ちぐされ**……役に立つ物をもっているのに、しまいこんで使わないこと。  
 ・せっかくよいものをもっているのに、役立てないことをたとえた。

② ことわざの意味を考え、ことわざを完成させましょう。

① **多勢に無勢**

- ・相手が多数なのに対して少数なので、勝ち目がないこと。

② **負けるが勝ち**

- ・しいて争わず、勝ちをゆずるのが、結局は勝利をもたらすということ。

- 同じような意味をもつことわざに「逃げるが勝ち」「負けて勝つ」「負けるは勝ち」がある。

③ **急がば回れ**

- ・遠くても安全で確実な道をとったほうが、結局は早いということ。

④ **公然の秘密**

- ・かくしているつもりが、広く世間に知れ渡ってしまったということ。

③ ことわざの意味を考え、同じような意味をもつことわざを見つけてみましょう。

① **虻蜂とらさず**と**二鬼追う者は、一鬼も得ず**

- ・同時に二つを得ようとしても、結局できないことのたとえ。

② **鬼に金棒**と**虎に翼**

- ・強い者に、さらに強さを加えることのたとえ。

③ **泣きつ面に蜂**と**弱り目にたたり目**

- ・つづいていなくことが重なることのたとえ。

④ **柳に雪折れなし**と**柔よく剛を制す**

- ・やわらかくしなやかなものが、かえって強いものをおさえること。

